

小規模特認校制度を利用して 兜沼小中学校に 入学・転学しませんか？



豊富町教育委員会では、兜沼小中学校を「小規模特認校」に指定しています。

小規模特認校制度とは自然環境に恵まれた小規模校で、児童・生徒の心身の健康の増進を図り、体力づくりを目指すとともに、自然にふれる中で豊かな人間性を培いたいという豊富町内の児童・生徒で保護者の希望があった場合に、住所を変更することなく、正規の通学区域を越える通学を一定の条件のもとに認める制度です。



○募集定員

各学年5名

○通学上の条件

- ・年間を通じて継続して通学することが必要です。
- ・通学にはスクールバスを利用します。
- ・保護者の送り迎えは原則禁止します。

○募集期間

9月19日(金)から10月31日(金)

○学校見学等

学校見学・参観は随時受け付けていますので、興味のある方や見学を希望される方は、学校へご連絡ください。

兜沼小中学校は、児童・生徒の意欲や興味関心・挑戦する心を引き出しながら、少人数ならではの仲間同士の支え合いを大切に、一人ひとりにあった学習に力を入れています。また、豊かな自然環境・地域とのつながりの中で、個性を伸ばしつつ、自主性を育うことができます。

豊富町内の児童生徒で兜沼小中学校へ入学・転入学を希望される保護者の方は、豊富町教育委員会または兜沼小中学校までお問い合わせください。

豊富町教育委員会 ☎ 0162-82-1355 兜沼小中学校 ☎ 0162-84-2007



【発行 豊富町教育委員会総務学校係】

兜沼小中学校ってどんな学校？

学校の概要

本校は、利尻礼文サロベツ国立公園の北端に位置し、広大な丘陵地帯にあります。学校の歴史は古く、サロベツ原野の開拓とともに開設、平成29年には、兜沼小学校開校110年・兜沼中学校開校70年を迎えました。令和3年度から小規模特認校として、現在小学生12名、中学生2名の計14名が学ぶ小さな学校です。地域住民の教育に対する期待は大きく、子どもたちを地域の宝として大事に育て、学校は地域コミュニティの中核を担う、大切な存在となっています。

本校のような小さな学校の課題は、少人数であることから大きな集団の中で培われる競争心などが育ちづらい、集団学習がしづらい、遊び相手が少ないなどですが、一方、児童生徒の一人ひとりの個性を生かす個に応じたきめ細かな指導、自学自習の経験を生かした自ら学び考える力の育成、豊かな自然環境を生かした教材や体験活動、地域住民と連携・協力した教育活動などができる強みがあります。

令和3年4月から、一人一台端末を活用し、いつでも同時双方向オンライン授業ができる体制を整えているほか、課題の配信・提出・採点なども行っています。また、AI学習教材を同窓会・町内会・保護者の皆様のご支援によりいち早く導入し、「個別最適な学び」を実現しています。

本校の立地環境は都市部とは違いますが、「豊かな自然環境の中で感性を培う」こと、「情報テクノロジーを活用した都市部にも負けない学習環境」をもつことの両方が実現できている学校です。



兜沼小中学校の特色 ～小規模・小中併置の良さを活かした教育活動～

- 少人数、ICTの活用で一人一人の子どものペースに合わせた「個別最適な学び」が進められ、より丁寧な指導を行っています。
- 自分の考えや学習内容発表などを授業時間内に全ての児童生徒が行えるので、その日の学習内容の定着が図れます。
- 一人一人が学びたいことに取り組める授業（レシカタイム）を行っています。
- 難しくなる中学校の学習内容もほぼマンツーマンで学ぶことができます。
- 中学校の定期テストや文協テスト後に教育相談や教科相談を行い、教科の悩みや学習の仕方などのアドバイスをしています。
- 運動会は地域の方々の協力を頂き、合同で実施することで盛大に行われています。
- PTA活動は活発で、保護者同士も仲が良く、子どもたちが楽しめる夏レクなどを企画し行っています。また、PTA広報紙も定期的に発行し地域に発信しています。

